

ゼロカーボンシティの実現へ 大型施設に再エネ導入！ 「市有施設への再生可能エネルギー等導入事業」の協定を締結

本市は、2050年に二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティとよはし」を目指すことを宣言し、更なる温室効果ガスの排出削減を実行しています。

この度、下表の施設を対象に使用電力の再エネ化と地産地消を積極的に進め、平常時の温室効果ガスを大幅に抑制するとともに、施設のレジリエンス向上（停電時に施設へ電力を供給する災害対応力の向上）を図ることを目的とした、自家消費型の太陽光発電設備等の導入事業（PPA*事業）について、実施事業者を公募型プロポーザルにより選定し、導入に向け協定を締結しました。

1. 選定結果

施設名	豊橋総合動植物公園
契約候補者	大和リース株式会社 名古屋支社 支社長 泉 和彦
主な提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 太陽光パネル設置容量：980kW ② 片持ちタイプのソーラーカーポート導入 ③ CO2 排出削減量：406 t-CO2/年 ④ 影や諸条件を踏まえた発電シミュレーション ⑤ 提案電気料金が安価であり、光熱水費の削減効果が高い



豊橋総合動植物公園

施設名	ライフポートとよはし
契約候補者	大和リース株式会社 名古屋支社 支社長 泉 和彦
主な提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 太陽光パネル設置容量：350kW ② 片持ちタイプのソーラーカーポート導入 ③ CO2 排出削減量：133 t-CO2/年 ④ 駐車台数減少を低減する提案 ⑤ 提案電気料金が安価であり、光熱水費の削減効果が高い



ライフポートとよはし

施設名	豊橋市保健所・保健センター
契約候補者	サーラエナジー株式会社 東三河支社 支社長 俣山 誠
主な提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 太陽光パネル設置容量：162kW ② 蓄電池導入による停電時のレジリエンス強化 ③ CO2 排出削減量：74 t-CO2/年 ④ 提案電気料金が安価であり、光熱水費の削減効果が高い



豊橋市保健所・保健センター

2. 今後のスケジュール（予定）

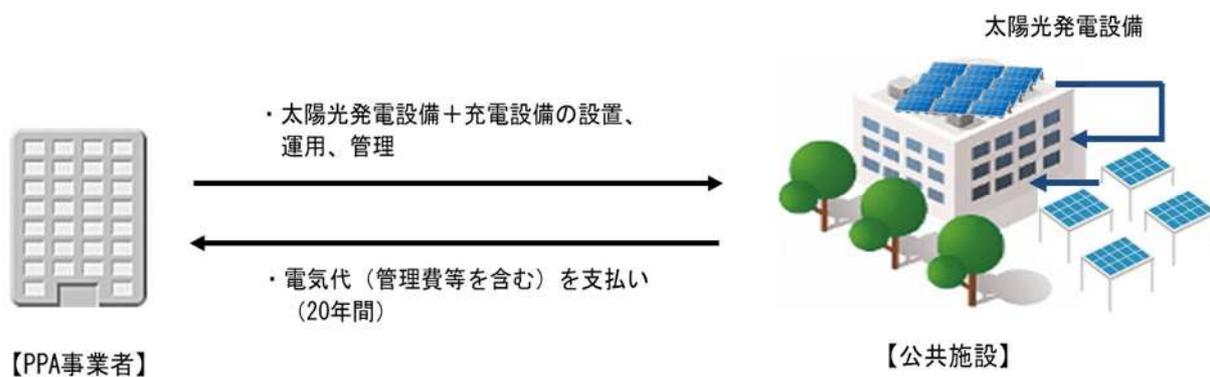
令和5年4月から	詳細調査・協議
令和5年8月頃から	契約締結、導入工事
令和5年度中	電力供給開始（電力供給契約）

プロポーザルの結果等については本市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/49756.htm>

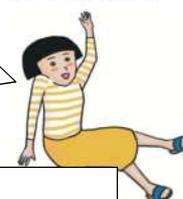
※PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

設備設置事業者（PPA事業者）が施設の未利用地（屋根や隣接地）に太陽光発電設備を設置し、施設側は設備で発電した電気を購入する契約のこと。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。



公共施設のゼロカーボンを進めていくに～！

かん田きょう子さん



問合先 環境部 ゼロカーボンシティ推進課 主幹 大村（電話 51-2409）



SDGs 未来都市
豊橋市

